

【商業科・事務情報科】 1 年次 【必修】科目「コミュニケーション英語基礎」授業のシラバス

1 概要

教科名	外国語科	科目名	コミュニケーション英語基礎	単位数	3 単位（1 1 7）
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う。 根室高校 CAN-DO リスト STAGE1 を達成目標とする。				
教科書 (出版社)	JOYFUL English コミュニケーション英語基礎（三友社）	副教材 (出版社)	フェイバリット英単語・熟語〈テーマ別〉コーパス 1800（東京書籍） 書いて身につくパターンプラクティス 英文法教室（桐原書店）		

2 学習の方法

(1) 予習について

教科書のそれぞれのレッスンで新しく出てくる英単語には、発音がカタカナで書いてあります。最初はカタカナ発音でもかまわないので、何回も繰り返し声に出して慣れておきましょう。多くの単語には日本語の意味も書いてありますので、合わせて覚えましょう。もし日本語の意味が書かれていなかったら、自分で前もって英和辞典で調べてみましょう。英和辞典は、はじめは難しいけれど、読めば読むほど英語の力がつきます。

授業の中で毎週単語テストを行います。皆さんが使う単語帳『コーパス 1800』にも、単語ごとにカタカナの発音が載っています。毎週の小テストに備えて、声に出して、手で書いて、しっかり練習して臨みましょう。それに加えて、ぜひ、積極的にどんどん先回りして覚えていきましょう。

(2) 授業について

コミュニケーション英語基礎の授業では、聞くこと・読むこと・書くこと・話すことの4技能の基礎的な力を身につけます。中学校でひととおり学んだ英語をこの1年間で改めてしっかり定着させて、2年次で学ぶコミュニケーション英語Ⅰのより高度な内容につなげていきます。それぞれのレッスンの内容に応じた多様な言語活動を行うことによって、実際のさまざまな場面で英語でコミュニケーションできるための力を少しずつ高めていきます。また、副教材を使って、コミュニケーション能力の基礎となる単語や文法の知識を深めていきます。

(3) 復習について

コミュニケーション能力を身につけるためには、新しく習った単語・熟語・文をただ暗記するだけでなく、必要な場面ではしっかりと声に出せたり書けたりすることが重要です。そのために必要なのは、まずは、授業で習ったことはその日のうちに復習して、頭の中に刻みつけること。次に、次の日に思い出して、思い出せないものは再度覚えなおすこと。新しいことを1回で覚えられ人は少数派です。5回、6回と、忘れては覚えなおしを繰り返すことで、ようやく新しい表現が自分の血肉となっていきます。分からなくなったら何度でも先生に聞いて大丈夫です。地道に、じっくり覚えましょう。

〈学習アドバイス〉

英語はコミュニケーションの道具です。自分の想いや意志を伝えたり、他の人のことを理解したり、みんなで一緒に話して歌って楽しんだり、好きな小説を読んで歌を聴いて映画やドラマやアニメを観て感動したり……。教科書に書かれている一つ一つの内容は、ほんの小さなことのように見えますが、それらはすべて、このような魅力あふれる世界につながっているのです。まずは、英語を声に出すこと自体を楽しみましょう。間違いを恐れずにどんどん思いついて言って試してみましょう。そして、自分がかっこいいと思う英語のモデルを見つけて（歌手でも俳優でも政治家でも、小説や映画の名セリフでも何でも）、何度でもまねして自分のものにしていきましょう。教科書の英語表現でもそれ以外の英語表現でも、それを1個、2個……。10個、20個……。とじっくり地道に覚えていて、それがやがて100個、200個……。になったとき、「自分の周りから英語が少しずつ聞こえてくる」、「自分が英語の世界の住人になりはじめている」ことに気づくはずです。その境地を味わうために、ゆっくり、休まず、楽しく学びましょう。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動に参加する。
② 表現の能力	さまざまな話題に関して、情報や考えなど、相手に伝えようとする事柄を英語で話したり、書いたりして、適切に表現する。
③ 理解の能力	さまざまな話題に関して、情報や考えなど相手が伝えようとする事柄を的確に理解する。また、聞き手に伝わるように適切に音読する。
④ 知識・理解	さまざまな話題についての学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解する。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料		定期考査・確認テスト 実力テスト		Attitude	Lesson Quiz	Individual Work	Pair/Group Work
観 点	割合						
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	25%	×	定期考査ではなく、授業内での取組、スピーキングテストやプレゼンテーションで評価をします。	○		○	○
② 外国語表現	25%	○	自分の意見や考えを、「話すこと」と「書くこと」を通して、相手に的確に伝えることができる。		○	○	○
③ 外国語理解	25%	○	「聞くこと」と「読むこと」を通じて、相手の考えや意思を、適切に理解することができる。		○	○	○
④ 言語や文化についての知識・理解	25%	○	英語が持つ言語的性質を理解し、英作文や英会話の際に適切に運用することができる。		○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

- ・授業は積極的に参加した者勝ちです。みなさんの意欲と積極性がなによりもまず評価されます。
- ・授業は基本的には All English で行い、みなさんの英語による活動がメインになります。長めの説明は日本語で行います。
- ・提出物の期日はしっかり守りましょう。早め早めに済ませておくこと、なお良いです。
- ・忘れ物がないよう、持ち物・提出物は前日のうちに必ず確かめましょう。それでも忘れてしまったら、必ず授業が始まる前に職員室に行き、教科担任の先生に伝えましょう。

【商業科・事務情報科】 1 年次 【必修】科目「コミュニケーション英語基礎」授業のシラバス

月	単元	時 数	学習内容	観点別 評価	到達目標	考查等
前期 4	Lesson 1 We Choose 〈日常生活〉	10	文 法：一般動詞 テーマ：人間とは何か 表 現：日常生活を英語で 書こう	全ての レッシ ンで① ～④を 総合し て評価 します。	＜各単元における評価の観点＞ ① 演習・ペアワーク・グループワークを積極的 な姿勢で行うことができる。 ② 授業内での「話す」活動や「書く」活動、ま たは定期考査において、学習した文法や表現を 基に、自分の意見や考えを適切に表現すること ができる。 ③ 授業内での「聞く」活動、または定期考査に おいて、学習した文法や表現を基に、相手の考 えや情報を的確に理解できる。 ④ 授業内で学習した文法や表現を通して、英語 という言葉の特性を理解できる。	前期中間考査
5	Lesson 2 World Foods 〈食文化〉	10	文 法：一般動詞の現在形 テーマ：世界の食べ物 表 現：日本の食べ物を紹 介する			
6	Lesson 3 Sanshin Day 〈沖縄の文化〉	10	文 法：be 動詞 テーマ：沖縄の音楽 表 現：好きな日について 話そう			
7	Lesson 4 Our Life 〈新しい社会のありかた〉	10	文 法：助動詞・進行形 テーマ：障がいをもつ人の 暮らし 表 現：詩の意味を考えた 音読			
8	前記の内容復習	11	リスニング 文法 長文			
9	Lesson 5 Super Cool Biz Project 〈民族衣装と環境問題〉	11	文 法：be 動詞・一般動 詞の過去形 テーマ：民族衣装から環境 や文化を学ぶ 表 現：昨日の自分の様子 を伝え合おう			前期期末考査
後期 10	Lesson 6 The Power of Bonds 〈東北の野球チーム〉	11	文 法：不定詞 テーマ：東北の野球チーム とファン 表 現：自分の好きなもの の紹介			後期中間考査
11	4月から 11 月までの内容復習	11	リスニング 文法 長文			
12						
1	Lesson 7 My School Days 〈手塚治虫の人生〉	11	文 法：受け身・動名詞 テーマ：手塚治虫の少年時 代について 表 現：自分の夢について 話し合う			
2	Lesson 8 Ice Hotel 〈北欧の暮らし〉	11	文 法：現在進行形 テーマ：氷のホテルと北欧 の暮らし 表 現：自分が行ったこと がある場所の紹介			
3	Reading The Duck in the Gun?	11				後期期末考査
		計 117				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は表現する能力、③は理解する能力、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。